



広報

No.390

あいわ '90/12

■編集

秋田県北秋田郡合川町役場総務課

☎0186(78)2100

FAX 0186(78)3277



ようこそ ソ連のみなさま

11月16日から23日までの8日間、ソ連対外友好交流団体連合会のみなさんが、当町を中心に、交流訪問されました。一行はハバロフスク地方の女性副知事ストレルコワ・イリーナさんら7人。

訪問最終日には『合川町とハバロフスク地方の人的・文化的・経済的な交流を一層拡大する』などの内容の趣意書を交換。国際交流の新たな進展に、期待が寄せられています。(関連記事2・3・5面。写真—学童研修センターで南小学校児童による交流会)

なごやかな交流 そして 真剣な視察

〈スナップ〉 ソ連対外友好交流団のみなさんとの8日間から

▶これからの交流の拡大について趣意書を交わし、握手するイリーナ副知事と畠山町長

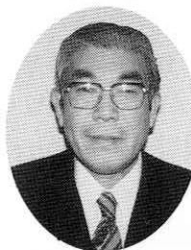


合川中学校では柔道部の練習に飛び入り。「すごく強かった」と中学生の手応え



▲児童が盛り付けをする学校給食を視察し、熱心に質問（西小学校で）

ハバロフスクの
視察団を迎えて



西小学校長
山岡多郎右エ門さん

教育文化担当副知事・中学校長等一行七名の教育を中心とした視察というところで、本校では歓迎セレモニーよりも授業参観を中心とした日程を計画して迎えた。

当日、全校児童の日・ソ手旗による歓送迎と玄関・廊下に掲げた両国々旗の数の多さは視察団一行に好印象を与えたようだった。

授業は各学年異教科でバラエティに富んであったためか熱心な巡視で、四年理科や六年習字の学習には感動した女性校長さんが「オーチンハラショー。」と板書する程だった。

また、一年生の給食参観では給食準備・食事の状況など驚異の目で見、質問も多かった。

視察団の昼食に児童と同メ



▲大野台の里の縫製訓練施設で。製品を手にとって見込むような視線。

大野台の工業団地では、先端技術とともに、職場内のシステム面にも高い関心 ▶



▼花たばの子どもを抱きかかえて、深い友情が築かれますようにーと

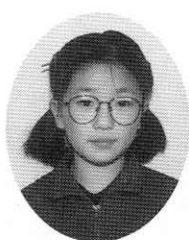


▲喜びは率直に表現。交流会でのゲームでは、明るい笑い声に包まれました

これからもこんな楽しい交流をいろいろな国の人たちとやっていきたいです。

私たちはハバロフスクの人たちのやさしい顔を見て何かはげまされたような気がします。

私は初めて合うハバロフスクの人たちを見てとても感激しました。とてもやさしそうな人たちが多かったからです。演奏を聞いている時も手びょうしをしながら聞いてくれたし、ダンスを見る時にはここにこはえんで見ていてくれました。



南小6年
伊東久美子さん

ハバロフスクの人たちと楽しく交流

ニューの給食をおあげしたがライスはあまり食べなかった。トイレのことを心配し男女別などロシア語で表示しておいたのには感激したようで、ちょっとした気配りの大切さを認識した。

機械力を整備して転作推進

平成四年 きゅうり自選機を導入へ

町議会十二月定例会は、十一月二十六日に開かれました。冒頭で行われた畠山町長の行政報告のあらまします。

12月定例町議会

作況指数97

一等米比率は 過去最高に

今年の稲作は、十月十五日統計事務所発表の作況指数で九七のやや不良となりました。十一月十五日現在の米の出荷量は八万二千九百十俵で、限度数量八万六千四百七十七俵に対する出荷見込は、最終的に九三％前後にとどまるものと予想しています。

しかし、一等米比率はカントリーを含めて九七％となり過去最高の比率となりました。作付品種は多収品種から良質米品種への移行が一段と進

んでいます。今後は、栽培技術の高度化が要求され、これに対応していきたいと考えています。

次に、本年三月定例会で水田農業確立後期対策に伴い、転作の円滑な推進と水田農業全体の定着促進や地域活性化の推進を図るため、設置しました水田農業確立特別交付金の基金の運用について申し上げます。

四月から農業団体、農協、指導センター運営委員会等で審議して頂き、その結果、転作地の排水改良を行うことなどによって、町の特産品であるスイートコーン、比内鶏の一層の拡大を図っています。

特にスイートコーンについては、早出し奨励のため播種マ

ルチを導入し、省力化を計画しています。また、転作牧草を畜産と結びつけるための畜産機械を導入し、畜産農家に貸付け、一般農家の転作牧草を刈り取る等、転作地の有効利用を考えています。

転作機械整備として、管理機、播種マルチ、畝たて各四台、排水対策として弾丸暗渠二台、転作牧草対策として、牧草収穫のための各種機械（モア、ロータリーテッダ、ヘーベラ各二台）、畦塗機二台を購入し、農協が貸し出し、保守管理を行う予定です。

栽培資材の 無償貸与も

転作野菜の重点作目を夏秋きゅうりに絞り、転作定着化を図るため、三年度拡大目標面積を一・五ヘクタールに設定。夏秋きゅうり栽培に係る資材の一部を五年間無償で貸与したいと考えています。

貸与の条件は、面積が十アール以上の新規栽培者、または十アール以上の作付拡大を行う既栽培者とし、いずれも五年以上継続が見込まれるものとしていきます。夏秋きゅうりの面積拡大には労働力の緩和が必須要件ですので、四年補



助事業を導入。農協が事業主体となつて、自動選別機を購入することを計画しています。
ハバロフスクー合川町

相互交流で 趣意書を交換

最近の世界情勢は、東西関係の緊張緩和が進み、日本海沿岸の都市とソ連とのシンボジウムの開催や、日ソ友好の船など様々な可能性を求めて交流が活発になってきています。このような情勢の中で、七月下旬に私が団長となり、

憩いの公園が できました

農村総合整備モデル事業

増沢農村公園

十一月二十八日、増沢地区農村公園の竣工式が、同公園で行われました。

増沢農村公園は、部落全体からはば中間的な場所にあり、三十アールの敷地に、多目的グラウンド、遊具、トイレなどが設置されています。電気照明施設も完備した近代的な公園で、地区の人たちの憩いの広場として喜ばれています。



町民有志十三人が日ソ平和友好のため、ハバロフスク市とサハリンを訪問しました。

サハリンでは日本人死没者合同慰霊碑に詣で、ハバロフスクでは市立第十二学校を訪問し、町と地元の子どもたちの絵を交換しました。これがきっかけとなり、町の小・中学校と姉妹校提携の話が持ち上がり、今回、ソ連対外友好文化連絡協会ハバロフスク支部代表団の来町となりました。

ハバロフスク地方副知事を団長とする一行は、十一月十六日から八日間の日程で訪日。本町では十七日、役場、高校、学童研修センター、カントリー加工施設、農協スーパーを見

学し、町民歓迎パーティーで町民と深い友好関係を築きました。

十八日は、東小学校PTA主催の教育交歓会に出席。日本とソ連のPTA活動、学校と家庭の関係等、熱心に教育交歓をし、大きな成果を挙げています。

十九日は中学校、西小学校を訪問し、西小学校では日本の学校給食について理解を深めました。午後からは誘致企業を見学し、日本の経営システム、技術について勉強をし、夜は議長招待の夕食会で議員の皆様方と意見を交換しました。

二十日の夜は合川町日ソ友

好交流協会と交流会。二十二日には、北小学校を訪問。その後町とハバロフスク地方との人的、文化的、経済的交流について一層の拡大を促進するとの意向を表明した趣意書を交換し、二十三日帰国されました。

今後は、日ソ友好親善を深めるため、将来を担う児童、生徒たちの絵や作文を中心に交流したいと考えています。

なお、今回の訪問中にハバロフスクへの招待を受けましたので、時期は明年九月下旬を予定し、人選について議会と相談しながら進めてまいりたいと思っています。

国勢調査の概数を発表

町の人口は八、九六八人に

十月一日現在で行われた国勢調査の人口概数が発表されました。

それによると当町の人口は八千九百六十八人（男四千二百七十四人・女四千六百九十四人）。前回（昭和六十年）に比べて三・六六%の減少率となっています。

今回の調査では、県北地区に人口減少率の高い町村が目立ち「人口流出の歯止め」が、地域全体の大きな課題であることが、改めて指摘されています。

当町の人口は、近隣町村に比べると減少幅は小さく、世帯数では十七世帯の増加となっています。

なお、この数値はあくまでも基礎的な集計による速報値として発表されたものです。調査に各世帯のご協力をいただき、ありがとうございました。

国勢調査概要

区分 市町村名	世帯数	人口 総数	昭和60年 からの人口 増加率(%)
県計	358,644	1,227,491	-2.12
大館市	21,491	68,196	-5.01
北秋田郡	20,479	72,311	-5.11
鷹巣町	7,080	23,628	-4.04
比内町	3,443	13,200	-3.53
森吉町	2,562	8,952	-8.90
阿仁町	1,604	5,114	-8.61
田代町	2,392	8,703	-3.82
合川町	2,257	8,968	-3.66
上小阿仁村	1,151	3,746	-8.99

合川町の人口

	昭和 35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成 2年
総数	12,083	10,833	9,976	9,578	9,587	9,309	8,968
増加率		% △10.3	% △8.2	% △3.7	% △0.1	% △2.9	% △3.7

十月七日（日）合川町農村環境改善センターで、第十回子育てを語る集いが開かれました。講師は東北大学歯学部予防歯科学助教授の岩倉政城先生。毎日の歯科治療という実例を通して、子育ての難しさ、楽しさを二時間四十分にわたって話してくださいました。稲刈日和ということもあって八十人程の参加でしたが、スライドと身振り手振りの熱演（？）に会場は笑ったり涙を流したり。あつという間に時間となりました。

一生使う歯である六歳臼歯（犬歯の隣の歯）が、生え始めてから一年の間に四〇％虫歯になってしまふ。この砂糖浸けの食生活を変えなければという話から始まり、歯の役割が物を噛むだけでなく、人間生活全般に関わっていることを分かりやすく話されました。その上で、子供の心と体の健康が、子育て上の手抜きによって傷つけられている

“子育て”の中で 育つ私たち

第10回子育てを語る集い

ことを実例を上げて訴えました。多くの参加者が自分自身をふりかえり、わが子を再発見するきっかけになったことと思います。

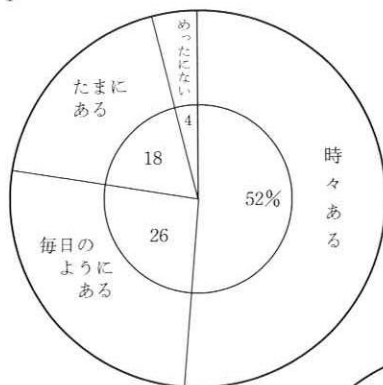
学習会の最後に、ジョン・レノンの曲がメドレーで流れました。一瞬何が始まったのかと驚いた様子でしたが、まもなく会場は感動の涙に静まりかえりました。子育てという作業を通して、人間がどれだけ大きく成長することができるのか。歌の変化から共通の理解が広がったようです。

「私たちはあまりにも忙しい。だけでもどんな短い時間でも、きちんと子供と接することはできるんです。それは愛情を子供に分かるように伝える技術を、親である私たちが身につけながら子育てをすることです。」鳴り止まぬ拍手の中で会は閉じました。

“子育て”でアンケート

一町内保育園PTA連絡協議会一

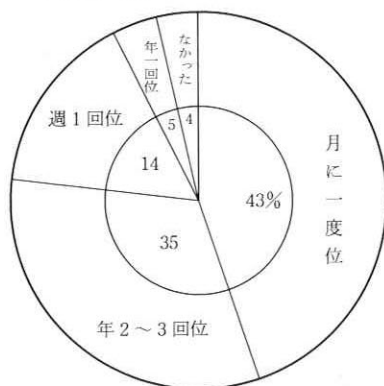
町内保育園PTA連絡協議会では、子育てを語る集いなどに活用するため、園児を持つ家庭で多項目のアンケート調査を行いました。その中から3つの集計結果をお知らせします。



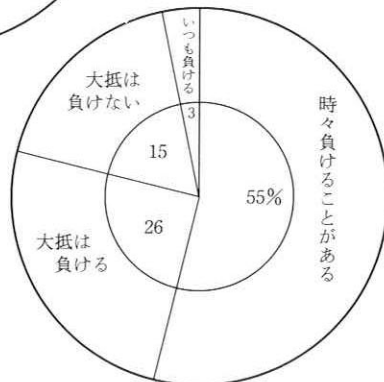
子供の遊び相手になったり、本を読んだり、お話しをして聞かせることは、どれだけあるか。

※「全然なし」はいない。

子供を中心とした家族全体のレクリエーションをどれほどするか。



子供に何か強くねだられた時にどうするか。



※「絶対に負けない」はいない。

学童研修センターに

(距離)

スキーコースと講堂が竣工

町学童研修センターに併設して工事が進められていた、講堂とクロスカントリーコースが竣工しました。

学童研修センターは町内児童生徒が授業の中に組み入れて利用するほか、この夏には山村留学生を受け入れる中心施設として利用。十二月二十

六日からは、冬期留学生三十名の利用が予定されています。

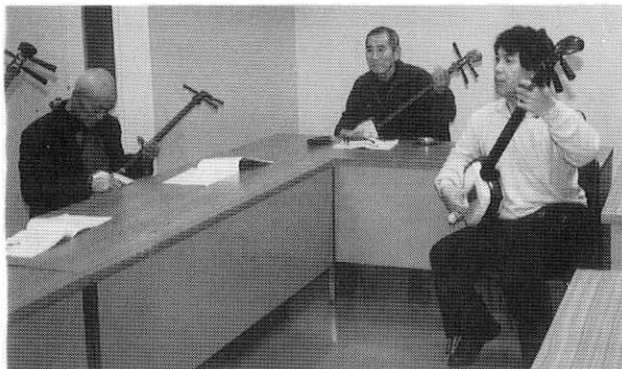
講堂は集会や小体育館的な利用のため作られたもので、周辺野外施設の雨天時の対応のためにも要望されていました。クロスカントリーコースは一周五キロ。起伏に富んだ本格的なコースは、距離スキー

などの体力づくりに完成が待たれていたものです。



ザ・生涯学習 輝く人生

講座・グループ紹介 ⑧



三味線講座

七、八年前に自主的に学習していた下手(へた)の横好き、三味線同好会が公民館の講座募集に応募して「三味線講座」代表、杉渕佐一郎さん・木戸石君が生まれた。現在のところ受講生は開設定員ギリギリの約十人。若いころで四十代、八十代のじいさままでと幅広い(女性も一人)。

講師は、公民館が青森市から鳴海昭仁、木村和広という専門家を紹介してくれた。隔週一回の割合で同市から来町。津軽三味線の初歩から手を取って教えているが、七、八年も

中断していたこと、前に習った流派が異なること、それに何よりも高齢なこと、何かと雑用が大過ぎることなどから、一部の人を除いては「物覚え」も極めて悪く、いつになつたら曲なりでもよいから「弾ける」ようになるやら心配ばかり。

三味線は調子合わせにまず苦勞する。本調子、二上り、三下りなどあるが、どれを聴いても同じ音に聞こえてくるようではダメ。「一弦三年」とかで、一本の糸の調子が分かれるまで三年もかかるといわれ

五日間に延べ一〇、〇〇〇人の町民と握手を交わした私は、新しい血液を注がれた人間になった感である。

一二月二五日登庁。議会運営委員会。二六日臨時議会。二七日水田農業再編後期対策委員会で、平成三年

度産米の集落への仮配分など、二八日の御用じまいを明日に控えた。家に帰っては残飯整理のような食事をして睡眠する日課がつづく。

新しい年が目前にさしせまっている。古い年は日ほぎの暦になると数日しかない。町民の皆さんが良い年を迎えられることを心から祈りする。

(義)

献血にご協力を

平成3年1月7日

合川町役場前

午前10時30分～午後1時

県立営農大学校前

午後2時～午後3時30分

るのがようやく分かった。でも、何とか「物」にしようと、みんな張り切っている。

新規受講者大歓迎。問い合わせは公民館へ。

12月こよみ

平成2年10月末日 住民登録人口調べ

人口男 4,316人(+3) 転入11人

女 4,696人(-2) 転出10人

計 9,012人(+1) 世帯数2,302(-2)

1 土	飲酒運転追放県民運動強調月間 (~31日) 歳末たすけあい運動 (~15日) 太鼓講座	11 火	年末の交通安全県民総ぐるみ運動 (~20日) 消費者学習会 社交 ダンス講座(公民館)	21 金	
2 日		12 水	太鼓横笛講座(改善センター)	22 土	
3 月	選挙管理委員会 美栄部落移動町 民室 書道講座・中国を学ぶ講座 (改善センター)	13 木	生き活きまつり反省会及び特 産品を考える合同会議	23 日	天皇誕生日 町長選挙投票日
4 火	産業常任委員協議会 定期監 査(~6日)	14 金		24 月	リズムダンス発表会
5 水	社交ダンス講座 スポーツ教 室	15 土	太鼓講座(改善センター)	25 火	
6 木	明るい選挙推進協議会 太鼓 横笛講座	16 日	太鼓横笛講座(改善センター)	26 水	社交ダンス講座(公民館) スポー ツ教室(体育館) 冬期短期山村留 学(~30日)
7 金	三味線講座(改善センター)	17 月	ふきのとう学級 書道講座(改善センター)	27 木	水田農業再編対策協議会
8 土		18 火	町長選挙告示 第12回社会人バレー ボール大会 三味線講座(改善セ ンター)	28 金	御用納め
9 日		19 水	社交ダンス講座(公民館) スポーツ教室(体育館)	29 土	
10 月	農業委員会 書道講座(改善センター)	20 木	書道講座(改善センター)	30 日	
				31 月	

慶弔だより

【10月届】

【お誕生おめでとうございます】

佐藤 千佳 美 栄 康 久 長女
伊藤 貴史 杉山田 昭 人 長男
柴田 龍 八幡岱 誠 一 長男
御処野光沙 鎌 沢 光 悦 長女
工藤 卓也 上 杉 義 弘 長男

【謹んでおくやみ申し上げます】

鈴木 チエ 福 田 誠 一 母
佐藤 義春 川 井 本 人
藤 立 リ エ 母
飯 栄 本 人
小 沢 千代治 母

ご寄付

(敬称略)

て】

鈴 田 故母 チエ
藤 立 故祖母 ミエ
佐藤 木 川 井 故父 義春
小笠原千代治 増沢 故母 リヨ

【訂正おわび】

広報10月号のお誕生日おめでとうの
奈良将希ちゃん(増沢)滝己長男を
久美長男と誤載しました。また前号
町商工会長佐藤吉次郎さんを佐藤吉
二郎と誤載しました。訂正し謹んで
おわび申し上げます。

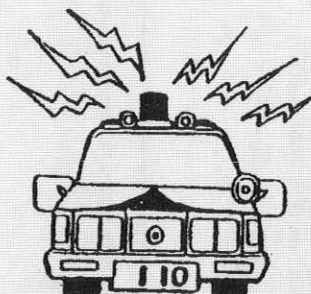
1月10日は

「110番の日」

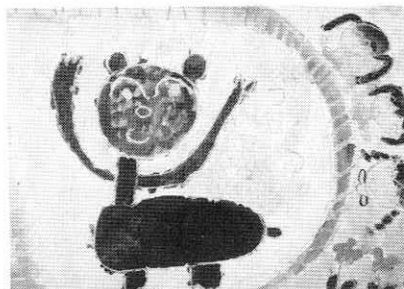
かけつけます
あなたを守る
110番

「110番」通報があれば警察は
すぐにかけつけますが、「110
番」をする時は、落ち着いて
ゆっくりと。

いたずら電話は
やめましょう



チビッ子美術館



くまぼくじょう
へえんそく

さくらい ゆうちゃん

(ひがしほいくえん)
つきぐみ

情報

町内交通事故
飲酒運転違反

11月30日まで。事故は人身事故発
生地別。飲酒運転は違反者住所別。

阿仁部交通安 全協会 合川支部	事故	飲酒 運転	計
東 部 会	4	2	6
西 部 会	5	1	6
南 部 会	3	0	3
北 部 会	7	3	10
計	18	6	25